

当院におけるパス事務局 の活動と今後の課題

社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院
パス事務局 専任看護師 江田 義樹

第21回愛媛県クリニカルパス研究会 COI開示

演者氏名: 江田 義樹
所属: 済生会松山病院 看護部

演題発表内容に関連し、開示すべき利益相反(COI)関係にある企業
などはありません。

済生会松山病院

病床数: 199床(/HCU12床/一般187床)7対1入院基本料
急性期一般入院料1・地域包括ケア病棟入院料1

- ・診療科目 14診療科
内科・循環器内科・神経内科・整形外科・脳神経外科・外科・婦人科
泌尿器科・皮膚科・形成外科・眼科・放射線科・麻酔科
リハビリテーション科
- ・救急医療 救急告示病院・輪番制病院
- ・教育指定 基幹型臨床研修病院
協力型臨床研修病院



2023年度

- ・平均在院日数 13.5日
- ・病床稼働率 76.9%
- ・職員数 528名(うち医師53名 看護師232名)
- ・1日平均入院患者数 153.0人
- ・1日平均外来患者数 515.4人
- ・電子カルテ(富士通EGMAIN-GX)
- ・DPC対象病院(Ⅲ群)
- ・ISO9001:2015認証



はじめに

当院では2004年7月よりクリニカルパス委員会を発
足し、パス活動を推進してきました。

しかし、パス推進活動を行っていく中で、委員会メン
バーだけでは活動の負担も大きく、2019年1月パス
事務局を開設し、委員会とともにパス活動を推進して
きました。様々な問題を改善する事が出来ましたが、
今後の課題も挙がってきました。

現在までの、パス事務局の活動と今後の課題につい
て見直すことにしました。

济生会松山病院クリニカルパスの歴史

1999年	・ 整形外科人工股関節全置換術(THR)クリニカルパス使用開始 ・ 糖尿病教育入院、白内障手術パス(使用までに2年)(病棟独自のパス)
2004年7月	・ 院内クリニカルパス委員会発足(第4月曜日17時) ・ 委員会での紙媒体クリニカルパス本格運用
2005年10月	・ 作成パス31種類
2006年1月	・ ISO9001:2000認証
2006年10月	・ 第1回クリニカルパス大会 開催
2008年4月	・ DPC対象病院承認
2010年8月	・ 電子カルテ導入、電子パス使用開始
2018年11月	・ BOM導入開始
2019年1月	・ パス事務局設立

当院のクリニカルパス委員会構成メンバー

- ▶ 医師 10名(委員長1名・副委員長1名含む)
- ▶ 看護師 13名(専任看護師1名含む)
- ▶ 薬剤師 3名
- ▶ 理学療法士 2名
- ▶ 栄養士 1名
- ▶ 事務 2名
- ▶ 総数 31名

2024年度

パス事務局 概要

開設	2019年1月
配置職員	専任看護師:1名、医事課:1名、診療情報管理士:1名
開設場所	医事課 診療情報管理室
事務局日	1回/週 不定期 院内情報webスケジュール表記

活動内容

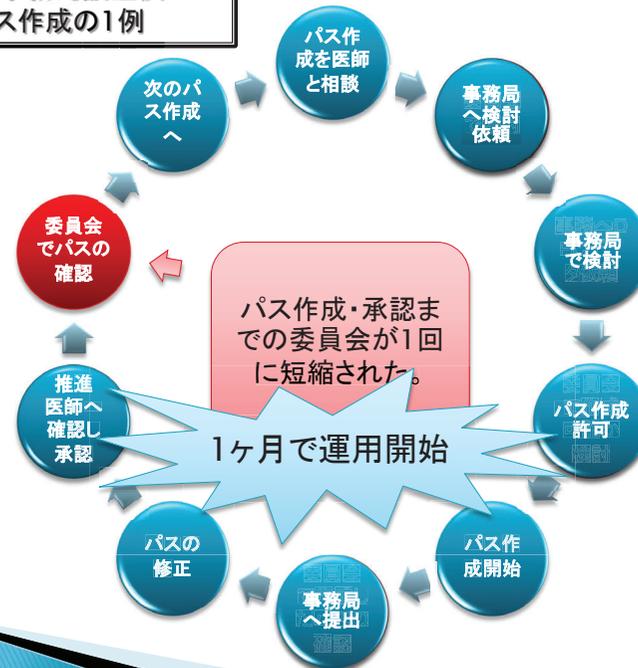
- パスに関する全般的な業務(パス作成・修正・バリエーション・統計ほか)
- パスの推進、適用率上昇への働きかけ
- 全部署からの相談窓口、多職種連携
- 業務改善等(パスワーキングの時間確保)
- 多施設との連携、情報交換

パス推進のために

- パス作成・修正の時間短縮

パス作成・修正作業は、パスを使用している部署の委員会メンバーが行っていた。また、作成・修正作業を行いながら、1ヶ月に1回開催されるパス委員会で多職種と調整をしつつ限られた委員会の時間内で検討会が必要であった。そのため、完成まで4ヶ月近くの時間が必要であった。パス作成修正作業と、委員会での検討事項や承認を、パス事務局で行い、完成から運用開始までの期間を1ヶ月と大幅に短縮することができた。

パス事務局設立後 パス作成の1例



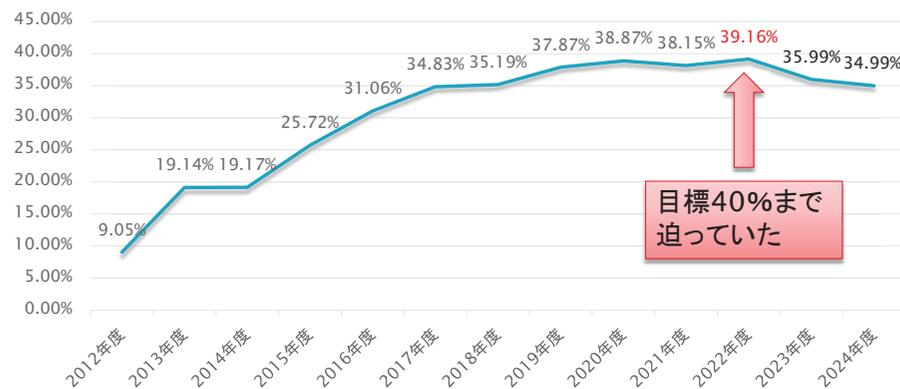
9

パス推進のために

- 適用率35%前後 ⇒ 適用率40%を目標に設定

適用率を5%上げて、目標を高め設定した。
 パス推進医師・看護師・多職種へ声かけをし、院内Webへの表記、相談窓口としてアピール
 疾患別の入院情報から、作成出来そうなパスを抽出。取り敢えず作れそうなパスを作成
 パス修正依頼があれば早めに対応
 医師・看護師・多職種から相談があれば、可能な限り迅速に対応

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
9.05%	19.14%	19.17%	25.72%	31.06%	34.83%	35.19%
37.87%	38.87%	38.15%	39.16%	35.99%	34.99%	

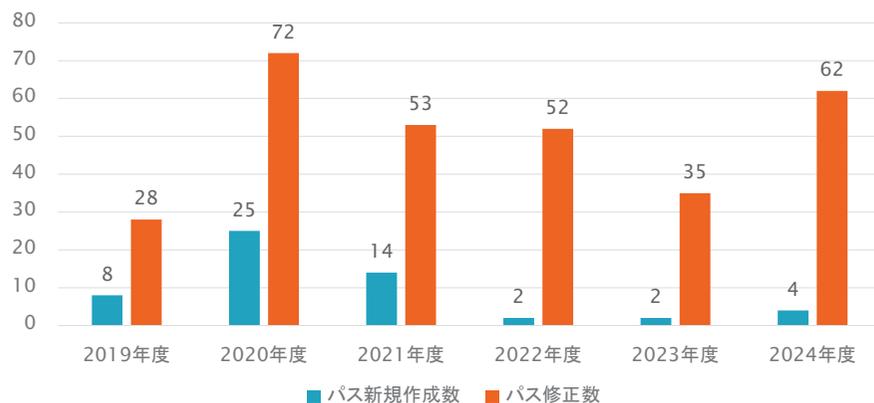


クリニカルパス適用率推移

11

12

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
パス新規作成数	8	25	14	2	2	4
パス修正数	28	72	53	52	35	62



パス事務局への相談内容

医師

- ・新規パス作成依頼
- ・パス修正依頼
- ・指示簿の修正、検査の変更など

看護師

- ・パス使用方法の確認
- ・パス修正依頼
- ・看護指示の追加や削除

薬剤師

- ・パス修正依頼
- ・ジェネリック医薬品への変更作業など

栄養士

- ・パス使用方法の確認
- ・栄養指導のパス導入の確認

事務

- ・パス作成時における、コスト面での相談
- ・入院期間Ⅱなどパス作成時の日数調整

パス推進のために

● パスワーキングの時間確保

パス事務局開設前に、看護部パス委員より聞いた内容

- ▶ 業務内でパスに関する時間はほとんど取れない、時間外でパス作成をしたり、残業している。
- ▶ パスをメインで作成出来る人は委員会内でも決まっていた。
- ▶ 看護部の委員が作成していた。

看護部パスワーキングの時間確保

看護部パス委員が時間を設けて、パスに関する業務が出来るようにする。

1回/月(委員会日)、半日~1日の業務時間確保し、パス事務局で開催する。

パス業務進捗状況や、パス業務が煩雑な場合は開催日を調整する。

パス作成・パス修正・統計やデータ収集・バリエーション評価・学会や勉強会の資料作成など。

病棟業務が煩雑な場合は、状況に応じてワーキンググループ時間の短縮や中止など柔軟な対応をする。

パス事務局によって得られた成果

- パス作成・修正の時間が4ヶ月から1ヶ月へ短縮
- 適用率が35%から39%まで上昇
- 多職種へのパス活動の推進、相談窓口の明確化
- 依頼や相談への迅速な対応ができた
- パスワーキングの時間確保

パス事務局設立に得られた成果は大きかったのですが、今後の課題も浮き彫りになってきました。

17

パス事務局 概要

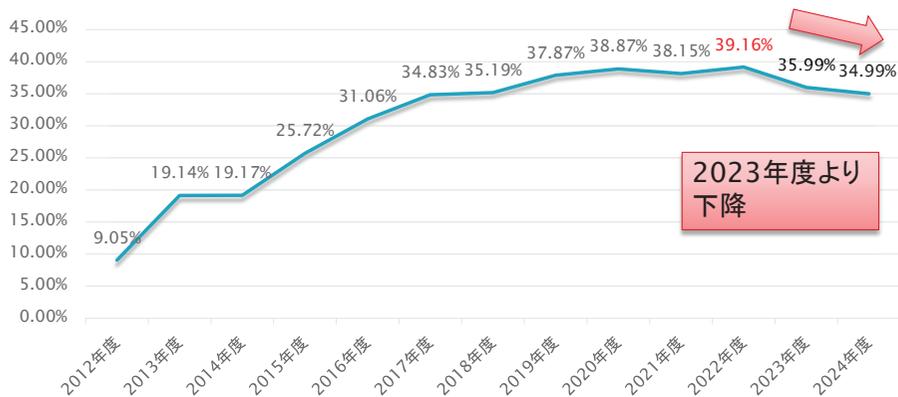
開設	2019年1月
配置職員	専任看護師:1名、医事課:1名、診療情報管理士:1名
開設場所	医事課 診療情報管理室
事務局日	1回/週 不定期 院内情報webスケジュール表記

人事
人手不足

2023年4月～ 1回/月

2025年4月～ 0回/月

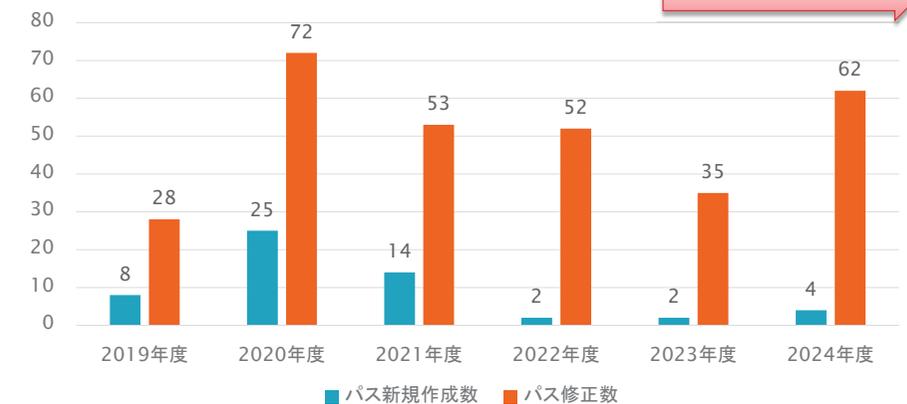
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
9.05%	19.14%	19.17%	25.72%	31.06%	34.83%	35.19%
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
37.87%	38.87%	38.15%	39.16%	35.99%	34.99%	



クリニカルパス適用率推移

19

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
パス新規作成数	8	25	14	2	2	4
パス修正数	28	72	53	52	35	62



■ パス新規作成数 ■ パス修正数

看護部パスワードキングの時間確保

看護部パス委員が時間を設けて、パスに関する業務が出来るようにする。

1回/月(委員会日)、半日~1日の業務時間確保し、パス事務局で開催する。

パス業務進捗状況や、
調整する。

パス作成・パス修
字云や勉強会の資料作成
など。

病棟業務が煩雑な場合は、状況に応じてワーキンググループ時間の短縮や中止など柔軟な対応をする。

2023年4月以降
時間確保困難に...

今後の課題

- パス事務局の人材確保

パスワードキングの時間確保も困難な状況で、パスに関する業務の大半を事務局で行う事によって、何とかパス業務を継続する事ができていた。

2019年にパス事務局開設より、専任看護師は交代せず継続してきたが、業務煩雑で引継ぎができるスタッフの確保が難しい状況であった。現状は引継ぎスタッフの候補もあり、改善に向けた取り組みを行っている。

今後は病院部署内で事務局を輪番制とする等、検討も行っている。

今後の課題

- パス事務局の時間確保が困難

パス事務局はパスに関する業務を中心になって実施してきたが、専任看護師の人事異動や、看護師不足によって事務局業務を継続するのが困難な状況に陥ってしまっている。

特に、専任看護師が業務の大半を中心に行っており、不在時には代行で業務を行えるスタッフがないのが、問題になっていた。

最後に

パス事務局の開設によって、現在までに得られた成果も多く、引き続きパス推進活動の継続的な働きかけは必要であると考えます。

社会を取り巻く環境は大きく変わっており、当院でも対応すべく、限られた人材と時間でパスを活用した業務の改善と効率化に取り組んでいます。

当院では看護記録とパスに関する取り組みを長年継続して行っていますが、実現には至っておらず引き続き検討が必要であると考えております。



なごしーさん

ご清聴
ありがとうございました。